

平成 29 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語 Ⅲ	3	第 3 学年	・ Vivid English CommunicationⅢ (第一学習社) ・ VALUE 1400 (数研出版) ・ アトラス総合英語 英語のしくみと表現(桐原書店)

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・コミュニケーション英語Ⅲは、1、2年生の時の既習事項を確認してその定着を図りつつ、より高度な英語を扱っていきます。今までと同様に日々の地道な予習を大切にすると共に、毎日教科書を音読するなどして、英語に触れるようにしましょう。地道な努力を厭わないことが、語学力向上への大きなキーポイントです。
- ・教科書には、皆さんの興味をひくようなトピックがたくさん散りばめられています。教科書をしっかりと読み込むことは、英語力の向上は元より、将来に役立つ教養を身につけることにもつながります。身構えすぎず、楽しむ気持ちで学習に取り組みましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標)

【第 3 学年】履修科目：「英語読解演習」(2 単位) 及び「英語表現Ⅱ」(2 単位)「時事英語」(2 単位)  
 「スピーキング」(2 単位)「デイリーイングリッシュ」(2 単位)

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
☆身近なことについて簡単なやりとりをしたり、自分のことについて述べることができる。 ◆絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ◆◇日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	定期考査  日々の授業における音読のタスク  ペアリーディング	☆自分のことについて簡単な文章を書くことができる。 ◆自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ◆簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and, but, becauseなどで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	定期考査  小テスト (単語・暗唱文)	☆ゆっくり話されると、身近なことに関する語や指示を理解することができる。 ◇決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことについて、内容を理解することができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されると、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	定期考査  日々の授業における本文の聞き取り  リスニング問題  ペアリーディング	☆簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。 ◇◆50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをとらない音読することができる。 ◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	定期考査  小テスト (単語・暗唱文)  本文読解問題

### 3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	「CAN-DO リスト」に基づいて「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	「CAN-DO リスト」に基づいて「読むこと」「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまともりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

### 4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 1 (6時間)	幸福であるとはどういうことか、 コスタリカとブータンを例に考え、幸福を測る指標について読み取る。  ※文型・文法事項： 助動詞＋have＋過去分詞 / 独立不定詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」  a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、幸福であるとはどういうことかについて理解する。 b. 幸福であるとはどういうことかについての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 幸福であるとはどういうことかについて、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 幸福であるとはどういうことかについて、自分の考えを簡単な英語で表現する。	a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、幸福であるとはどういうことかについて理解しようとしている。 b. 幸福であるとはどういうことかを読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 幸福であるとはどういうことかについて、英語で表現しようとしている。 d. 幸福であるとはどういうことかについて、英語で書くようとしている。	・教員の発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。

「外国語表現の能力」			
<p>a. 英問に口頭で適切に解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. 助動詞＋have＋過去分詞 / 独立不定詞など、学習した表現をリピートして身につける。</p>	<p>a. 英問に口頭で適切に解答することができる。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. 助動詞＋have＋過去分詞 / 独立不定詞など、学習した事柄を正確に表現できる。</p>	<p>・英文に関する英問を理解し、設問に対する適切な答え方を考えて書く。</p> <p>・各 Part の練習問題に解答する。</p>	<p>・練習問題の解答状況を見る。</p>
「外国語理解の能力」			
<p>a. 本文の英文を読んで、幸福であるとはどういうことかを理解する。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで、幸福であるとはどういうことかを理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し、英語の質問に答えたり、段落ごとに日本語で要約する。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を教員側から行う。</p> <p>・ Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」			
<p>a. 幸福であるとはどう</p>	<p>a. 幸福であるとは</p>	<p>・本文を読んだり、参考</p>	<p>・各 Part の練習問</p>

	<p>いうことかについて理解する。</p> <p>b. 助動詞+have+過去分詞 / 独立不定詞を用いた文を理解する。</p>	<p>どうということかについて理解することができる。</p> <p>b. 助動詞+have+過去分詞 / 独立不定詞を用いた文を理解することができる。</p>	<p>資料による学習を行ったりする。</p>	<p>題の解答状況を見る。</p>
--	--	---	------------------------	-------------------

単元 (配当 時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 2 (6時 間)	<p>今日、ゲームの考え方が私たちの生活のさまざまな分野に取り入れられている。このレッスンでは、「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取る。</p> <p>※文型・文法事項：省略 / 無生物主語</p>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について理解する。</p> <p>b. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果についての英文を読んで、その内容を読み取る。</p> <p>c. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について、自分の考えを簡単な英語で表現する。</p> <p>d. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について、自分の考えを簡単な英語で書く。</p>	<p>a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について理解しようとしている。</p> <p>b. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果を読んで、その内容を読み取ろうとしている。</p> <p>c. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について、英語で表現しようとしている。</p> <p>d. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について、英語で書こうとしている。</p>	<p>・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。</p>	<p>・話す、書くを中心に言語活動を観察する。</p>
		「外国語表現の能力」			
		<p>a. 英問に口頭で適切に解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように</p>	<p>a. 英問に口頭で適切に解答することができる。</p> <p>b. 自分の考えや意</p>	<p>・英文に関する英問に解答する。</p> <p>・各 Part の練習問題に解答する。</p>	<p>・練習問題の解答状況を見る。</p>

	<p>発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. 省略 / 無生物主語など、学習した表現をリピートして身につける。</p>	<p>見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. 省略 / 無生物主語など、学習した事柄を正確に表現できる。</p>		
「外国語理解の能力」				
	<p>a. 本文の英文を読んで、「ゲーミフィケーション」がもたらす効果を理解する。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで、「ゲーミフィケーション」がもたらす効果を理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し、英語の質問に答えたり段落ごとに日本語で要約する。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を行う</p> <p>・ Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」				
	<p>a. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について理解する。</p> <p>b. 省略 / 無生物主語を用いた文を理解する。</p>	<p>a. 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果について理解することができる。</p> <p>b. 省略 / 無生物主</p>	<p>・本文を読んだり、参考資料による学習を行ったりする。</p>	<p>・各 Part の練習問題の解答状況を見る。</p>

			語を用いた文を理解することができる。		
--	--	--	--------------------	--	--

単元 (配当 時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 3 (6時 間)	クモの糸は、バイオリンの弦の新しい素材として利用されている。このレッスンでは、クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取る。  ※文型・文法事項：代動詞 / 部分否定	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について理解する。 b. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴についての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について、自分の考えを英語で表現する。 d. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について、自分の考えを英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について理解しようとしている。 b. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴を読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について、英語で表現しようとしている。 d. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について、英語で書こうとしている。	・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」		a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. 教員からの問いかけ	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表するこ

	<p>に対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. 代動詞 / 部分否定など, 学習した表現をリピートして身につける。</p>	<p>とができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. 代動詞 / 部分否定など, 学習した事柄を正確に表現できる。</p>		
「外国語理解の能力」				
	<p>a. 本文の英文を読んで, クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴を理解する。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで, クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴を理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し, 英語の質問に答えたり段落ごとに日本語で要約する。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を行う。</p> <p>Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」				
	<p>a. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について理解する。</p> <p>b. 代動詞 / 部分否定を用いた文を理解する。</p>	<p>a. クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について理解することができる。</p> <p>b. 代動詞 / 部分否定を用いた文を理解することができる。</p>	<p>・本文を読んだり, 参考資料による学習を行ったりする。</p>	<p>・各 Part の練習問題の解答状況を見る。</p>

			る。		
--	--	--	----	--	--

単元 (配当 時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 4 (7時 間)	ローザンヌ 国際バレエ コンクール で優勝した 菅井円加さ んの活躍に ついて読み 取り、菅井さ んのバレエ に取り組む 姿勢につい て考える題 材である。  ※文型・文法 事項：完了 形（受け 身）/分詞 構文（過去 分詞）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		a. 教員の発言やCDを真 剣に聞いて、ローザン ヌ国際バレエコンク ールで優勝した菅井 円加さんの努力と活 躍について理解する。 b. ローザンヌ国際バレ エコンクールで優勝 した菅井円加さんの 努力と活躍について の英文を読んで、その 内容を読み取る。 c. ローザンヌ国際バレ エコンクールで優勝 した菅井円加さんの 努力と活躍について、 自分の考えを簡単な 英語で表現する。 d. ローザンヌ国際バレ エコンクールで優勝 した菅井円加さんの 努力と活躍について、 自分の考えを簡単な 英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、 ローザンヌ国際バ レエコンクールで 優勝した菅井円加 さんの努力と活躍 について理解しよ うとしている。 b. ローザンヌ国際 バレエコンクール で優勝した菅井円 加さんの努力と活 躍を読んで、その 内容を読み取ろう としている。 c. ローザンヌ国際 バレエコンクール で優勝した菅井円 加さんの努力と活 躍について、英語 で表現しようとし ている。 d. ローザンヌ国際 バレエコンクール で優勝した菅井円 加さんの努力と活 躍について、英語 で書こうとしてい る。	・教員の発言や CD を聞 いたり、英文を読んだ りして、その内容を理 解し、それについて話 したり、書いたりする 活動を行う。	・話す、書くを中心 に言語活動を観察 する。
		「外国語表現の能力」			
		a. 英問に口頭で適切に 解答する。 b. 自分の考えや意見が 正確に伝わるように	a. 英問に口頭で適 切に解答すること ができる。 b. 自分の考えや意	・英文に関する英問を正 しく理解し、適切な表 現で解答する。 ・各 Part の練習問題に	・練習問題の解答状 況を見る。



	<p>発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. 完了形(受け身) / 分詞構文(過去分詞)など、学習した表現をリピートして身につける。</p>	<p>見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. 完了形(受け身) / 分詞構文(過去分詞)など、学習した事柄を正確に表現できる。</p>	<p>解答する。</p>	
「外国語理解の能力」				
	<p>a. 本文の英文を読んで、ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さんの努力と活躍を理解する。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで、ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さんの努力と活躍を理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し、英語の質問に答えたり段落ごとに日本語で要約する。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を行う。</p> <p>Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」				
	<p>a. ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さんの努力と活躍について</p>	<p>a. ローザンヌ国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さんの努力と活</p>	<p>・本文を読んだり、参考資料による学習を行ったりする。</p>	<p>・各 Part の練習問題の解答状況を見る。</p>

	理解する。 b. 完了形（受け身） / 分詞構文（過去分詞）を用いた文を理解する。	躍について理解することができる。 b. 完了形（受け身） / 分詞構文（過去分詞）を用いた文を理解することができる。		
--	--	---	--	--

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 5 (7時間)	携帯電話をリサイクルすることは、アフリカのゴリラを守ることにつながる。このレッスンは、生物や環境を守る取り組みについて自ら考える題材である。 ※文型・文法事項：It is said that ... / 比較級 + and + 比較級	a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて理解する。 b. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて、自分の考えを簡単な英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて理解しようとしている。 b. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて、英語で表現しようとしている。 d. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて、英語で書こうとしている。	・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。

			る。		
「外国語表現の能力」					
	<p>a. 英問に口頭で適切に解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. It is said that ... / 比較級 + and + 比較級など, 学習した表現を用いた文を書く。</p>	<p>a. 英問に口頭で適切に解答することができる。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. It is said that ... / 比較級 + and + 比較級など, 学習した表現を用いた文を書くことができる。</p>	<p>・英文に関する英問を正しく理解し, 適切な表現で解答する。</p> <p>・各 Part の練習問題に解答する。</p>	<p>・練習問題の解答状況を見る。</p>	
「外国語理解の能力」					
	<p>a. 本文の英文を読んで, 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを理解する。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで, 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し, 英語の質問に答えたり段落ごとに日本語で要約する。</p>	<p>Comprehension などの解答状況を見る。</p>	

		容を整理することができる。		
	「言語や文化についての知識・理解」			
	a. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて理解する。 b. It is said that ... / 比較級 + and + 比較級を用いた文を理解する。	a. 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかについて理解することができる。 b. It is said that ... / 比較級 + and + 比較級を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり、参考資料による学習を行ったりする。	・各 Part の練習問題の解答状況を見る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 6 (7時間)	音楽家である東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を紹介する。このレッスンでは、自国の文化に対する理解を深め、雅楽の魅力について考えるきっかけとしたい。  ※文型・文法事項： 分詞構文（完了形） / 関	a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について理解する。 b. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方についての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について、自分の考えを簡単な英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について理解しようとしている。 b. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について、英語で表現しようとしている。 d. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化に	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」  ・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。

係副詞の 非制限用 法		ついでの考え方に ついて、英語で書 こうとしている。		
	「外国語表現の能力」			
	<p>a. 英問に口頭で適切に 解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が 正確に伝わるように 発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけ に対して適切に回答 する。</p> <p>d. ペア、グループでの 対話練習、話し合いに おいて、相手の理解を 確認しながら発言す る。</p> <p>e. 分詞構文（完了形） / 関係副詞の非制限用 法など、学習した表現 をリピートして身に つける。</p>	<p>a. 英問に口頭で適 切に解答すること ができる。</p> <p>b. 自分の考えや意 見が正確に伝わる ように発表するこ とができる。</p> <p>c. 教員からの問いか けに対して適切に 応答することがで きる。</p> <p>d. ペア、グループで の対話練習、話し 合いにおいて、相 手の理解を確認し ながら適切な発言 ができる。</p> <p>e. 分詞構文（完了 形） / 関係副詞の 非制限用法など、 学習した事柄を正 確に表現できる。</p>	<p>・英文に関する英問に適 切な表現を考えて解 答する。</p> <p>・各 Part の練習問題に 解答する。</p>	<p>・練習問題の解答状 況を見る。</p>
	「外国語理解の能力」			
<p>a. 本文の英文を読ん で、東儀秀樹さんの雅 楽と日本文化につい での考え方を理解す る。</p> <p>b. 各 Part において、本 文の趣旨に基づき、英 問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension にお いて、本文内容を整理 する。</p>	<p>a. 本文の英文を読 んで、東儀秀樹さ んの雅楽と日本文 化についての考え 方を理解すること ができる。</p> <p>b. 各 Part におい て、本文の趣旨に 基づき、英問の内 容を理解すること ができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内</p>	<p>・英文を読んで内容を把 握し、英語の質問に答 えたり、段落ごとに日 本語で要約する。</p>	<p>Comprehension な どの解答状況を見 る。</p>	

		容を整理することができる。		
		「言語や文化についての知識・理解」		
	a. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について理解する。 b. 分詞構文(完了形) / 関係副詞の非制限用法を用いた文を理解する。	a. 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方について理解することができる。 b. 分詞構文(完了形) / 関係副詞の非制限用法を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり, 参考資料による学習を行ったりする。	・各 Part の練習問題の解答状況を見る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 7 (7時間)	このレッスンでは、語の歴史や起源について読み取り、英単語の語源や語義変化について考えるのがねらいである。 ※文型・文法事項： 文修飾副詞 / 準否定語	a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、英単語の語源や語義変化について理解する。 b. 英単語の語源や語義変化についての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 英単語の語源や語義変化について、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 英単語の語源や語義変化について、自分の考えを簡単な英語で書く。	a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、英単語の語源や語義変化について理解しようとしている。 b. 英単語の語源や語義変化を読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 英単語の語源や語義変化について、英語で表現しようとしている。 d. 英単語の語源や語義変化について、英語で書こうとしている。	・教員の発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			

	<p>a. 英問に口頭で適切に解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. 文修飾副詞 / 準否定語など、学習した表現を用いた文を書く。</p>	<p>a. 英問に口頭で適切に解答することができる。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. 文修飾副詞 / 準否定語など、学習した表現を用いた文を書くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文に関する英問に、適切な表現を考えて解答する。</li> <li>・各 Part の練習問題に解答する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習問題の解答状況を見る。</li> </ul>
「外国語理解の能力」				
	<p>a. 本文の英文を読んで、英単語の語源や語義変化を理解する。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで、英単語の語源や語義変化を理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を読んで内容を把握し、英語の質問に答えたり各段落を日本語で要約したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において内容把握を確認する英問を行う</li> <li>・ Comprehension などの解答状況を見る。</li> </ul>
「言語や文化についての知識・理解」				
	<p>a. 英単語の語源や語義変化について理解す</p>	<p>a. 英単語の語源や語義変化について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を読んだり、参考資料による学習を行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 Part の練習問題の解答状況を見</li> </ul>

	る。 b. 文修飾副詞 / 準否定語を用いた文を理解する。	理解することができ る。 b. 文修飾副詞 / 準否定語を用いた文を理解することができ る。	ったりする。	る。
--	----------------------------------	---	--------	----

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 8 (7時間)	スティーブ・ジョブズは、いくつもの人生の転機や特別な人との出会いを経験し、人々に人生を生き抜く大切さを伝えた。このレッスンでは、自分の人生を生き抜くことの大切さを自ら考える。  ※文型・文法事項： more A than B / 強調構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、自分の人生を生き抜くことの大切さについて理解する。 b. 自分の人生を生き抜くことの大切さについての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて、自分の考えを簡単な英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、自分の人生を生き抜くことの大切さについて理解しようとしている。 b. 自分の人生を生き抜くことの大切さを読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて、英語で表現しようとしている。 d. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて、英語で書こうとしている。	・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。	・英文に関する英問に解答する。 ・各 Part の練習問題に解答する。	・練習問題の解答状況を見る。



	<p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら発言する。</p> <p>e. more A than B / 強調構文など, 学習した表現を用いた文を書く。</p>	<p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p> <p>d. ペア, グループでの対話練習, 話し合いにおいて, 相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. more A than B / 強調構文など, 学習した表現を用いた文を書くことができる。</p>		
「外国語理解の能力」				
	<p>a. 本文の英文を読んで, 自分の人生を生き抜くことの大切さを理解する。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで, 自分の人生を生き抜くことの大切さを理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において, 本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し, 各段落を日本語で要約したりする。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を行う</p> <p>・</p> <p>Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」				
	<p>a. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて理解する。</p> <p>b. more A than B / 強調構文を用いた文を理解する。</p>	<p>a. 自分の人生を生き抜くことの大切さについて理解することができる。</p> <p>b. more A than B / 強調構文を用いた文を理解することができる。</p>	<p>・本文を読んだり, 参考資料による学習を行ったりする。</p>	<p>・各 Part の練習問題の解答状況を見る。</p>

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 9 (7時間)	世界で問題となっている水危機に対して、私たちがすべきことを考える題材である。  ※文型・文法事項：未来のことを表す仮定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...]	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、世界で起こっている水危機の現状について理解する。 b. 世界で起こっている水危機の現状についての英文を読んで、その内容を読み取る。 c. 世界で起こっている水危機の現状について、自分の考えを簡単な英語で表現する。 d. 世界で起こっている水危機の現状について、自分の考えを簡単な英語で書く。	a. 教員の発言や CD を真剣に聞いて、世界で起こっている水危機の現状について理解しようとしている。 b. 世界で起こっている水危機の現状を読んで、その内容を読み取ろうとしている。 c. 世界で起こっている水危機の現状について、英語で表現しようとしている。 d. 世界で起こっている水危機の現状について、英語で書こうとしている。	・教員の発言や CD を聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。	・話す、書くを中心に言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら発言する。 e. 未来のことを表す仮	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相	・英文に関する英問に解答する。 ・各 Part の練習問題に解答する。	・練習問題の解答状況を見る。

		定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...]など, 学習した表現を用いた文を書く。	手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 未来のことを表す仮定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...]など, 学習した表現を用いた文を書くことができる。		
「外国語理解の能力」					
		a. 本文の英文を読んで, 世界で起きている水危機の現状を理解する。 b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解する。 c. Comprehension において, 本文内容を整理する。	a. 本文の英文を読んで, 世界で起きている水危機の現状を理解することができる。 b. 各 Part において, 本文の趣旨に基づき, 英問の内容を理解することができる。 c. Comprehension において, 本文内容を整理することができる。	・英文を読んで内容を把握し, 英語の質問に答えたり各段落を日本語で要約する。	・授業において内容把握を確認する英問を行う ・ Comprehension などの解答状況を見る。
「言語や文化についての知識・理解」					
		a. 世界で起きている水危機の現状について理解する。 b. 未来のことを表す仮定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...]を用いた文を理解する。	a. 世界で起きている水危機の現状について理解することができる。 b. 未来のことを表す仮定法 / if it were not for ... [if it had not been for ...]を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり, 参考資料による学習を行ったりする。	・各 Part の練習問題の解答状況を見る。

単元	題材内容	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
----	------	-------	---------	--------	------

(配当時間)					
Lesson 10 (7時間)	<p>ホロコーストの悲劇を生き延びたトーマス・バーゲンソールの体験とその後の生き方について、読み取り、平和と人権の尊さについて考える題材である。</p> <p>※文型・文法事項： have + O + 過去分詞 / as if + 仮定法</p>	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<p>a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について理解する。</p> <p>b. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生についての英文を読んで、その内容を読み取る。</p> <p>c. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について、自分の考えを英語で表現する。</p> <p>d. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について、自分の考えを英語で書く。</p>	<p>a. 教員の発言やCDを真剣に聞いて、ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について理解しようとしている。</p> <p>b. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読んで、その内容を読み取ろうとしている。</p> <p>c. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について、英語で表現しようとしている。</p> <p>d. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について、英語で書こうとしている。</p>	<p>・教員の発言やCDを聞いたり、英文を読んだりして、その内容を理解し、それについて話したり、書いたりする活動を行う。</p>	<p>・話す、書くを中心に言語活動を観察する。</p>
		「外国語表現の能力」			
		<p>a. 英問に口頭で適切に解答する。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答する。</p> <p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を</p>	<p>a. 英問に口頭で適切に解答することができる。</p> <p>b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。</p> <p>c. 教員からの問いかけに対して適切に応答することができる。</p>	<p>・英文に関する英問に解答する。</p> <p>・各 Part の練習問題に解答する。</p>	<p>・練習問題の解答状況を見る。</p>

		<p>確認しながら発言する。</p> <p>e. have+O+過去分詞 / as if+仮定法など、学習した表現を用いた文を書く。</p>	<p>d. ペア、グループでの対話練習、話し合いにおいて、相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。</p> <p>e. have+O+過去分詞 / as if+仮定法など、学習した表現を用いた文を書くことができる。</p>		
「外国語理解の能力」					
		<p>a. 本文の英文を読んで、ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を理解する。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解する。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理する。</p>	<p>a. 本文の英文を読んで、ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を理解することができる。</p> <p>b. 各 Part において、本文の趣旨に基づき、英問の内容を理解することができる。</p> <p>c. Comprehension において、本文内容を整理することができる。</p>	<p>・英文を読んで内容を把握し、英語の質問に答えたり各段落を日本語で要約したりする。</p>	<p>・授業において内容把握を確認する英問を行う</p> <p>・ Comprehension などの解答状況を見る。</p>
「言語や文化についての知識・理解」					
		<p>a. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について理解する。</p> <p>b. have+O+過去分詞 / as if+仮定法を用いた文を理解する。</p>	<p>a. ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生について理解することができる。</p> <p>b. have+O+過去分詞 / as if+仮定法を用いた文を理解することができる。</p>	<p>・本文を読んだり、参考資料による学習を行ったりする。</p>	<p>・各 Part の練習問題の解答状況を見る。</p>